

## 大会スケジュールの概要

### 大会第1日目 3月19日(水)

9:15~11:15

ポスター発表 PA001~PA203(発表時間 9:15~11:15, 15:00まで掲示可)

11:30~12:30

資格説明会

12:45~14:45

招待座談会(SZ)

15:00~17:00

大会委員会企画シンポジウム(SS1)

臨床発達心理士会主催シンポジウム(D1)

特別企画講演(T1)

会員企画 自主シンポジウム(S1~S4)

会員企画 自主シンポジウム(S5~S8)

会員企画 ラウンドテーブル(RT1~RT5)

会員企画 ラウンドテーブル(RT6~RT10)

### 大会第2日目 3月20日(木)

9:15~11:15

ポスター発表 PBO01~PB205(発表時間 9:15~11:15, 15:00まで掲示可)

11:30~12:30

総会

12:45~14:45

招待講演会(L)

15:00~17:00

大会委員会企画シンポジウム(SS3)

大会委員会企画シンポジウム(SS2)

臨床発達心理士会資格認定委員会主催シンポジウム(D2)

講習会1(W1)

講習会2(W2)

会員企画 自主シンポジウム(S9~S11)

会員企画 自主シンポジウム(S12~S14)

会員企画 ラウンドテーブル(RT11~RT14)

会員企画 ラウンドテーブル(RT15~RT19)

### 大会第3日目 3月21日(金)

9:15~11:15

ポスター発表 PC001~PC203(発表時間 9:15~11:15, 15:00まで掲示可)

11:30~12:30

ランチョンレクチャー

12:45~14:45

大会委員会企画シンポジウム(SS4)

15:00~17:00

臨床発達心理士会主催シンポジウム(D3)

資格個別相談会

リレー講演(RL)

研究交流委員会企画シンポジウム(E)

特別企画講演(T2)

会員企画 自主シンポジウム(S15~S17)

会員企画 自主シンポジウム(S18~S21)

会員企画 ラウンドテーブル(RT20~RT24)

会員企画 ラウンドテーブル(RT25~RT28)

大会第1日目 3月19日(水)

掲示時間 9:15~11:15

1003	ポスター発表 PA001~PA203(責任在席時間 奇数番号 9:15~10:15、偶数番号 10:15~11:15)	
	12:45~14:45	15:00~17:00
1001 1002	SZ 発達研究の未来を考える	SS1 コミュニケーション基礎機能の神経基盤を考える
1006	S1 身体に<瑕疵>を持つということ—可視的変形の心理的意味を考える—	S5 比較認知発達神経科学の挑戦2.0—「他者」とは何か—
1007	S2 保育におけるアートの可能性を探る—ナラティブとしての保育の中で	S6 家族の生涯発達—夫婦の過去・現在・未来—
1008	S3 「生涯発達」再考—発達研究における中・高齢者のデータの持つ意味—	S7 幼児の安全教育III 幼児の暮らしの安全・安心をもたらすコミュニケーション力の発達
	11:30~12:30	
1009	資格説明会 D1 臨床発達心理士における倫理を考える	T1 Building-psychology— A developmental perspective on education
702	S4 子産み・子育てと動機づけ	S8 生涯発達における文法能力—障害から言語の本質に迫る—
802	発表では使用しません	発表では使用しません
803	RT1 喪失経験後のポジティブな心理的発達—普遍性と個別性に焦点を当てて—	RT6 ダイナミック・アセスメントと「媒介」概念の検討—フォイヤーシュタイン理論と実践の可能性—
804	RT2 質的心理学におけるナラティブ分析の方法	RT7 縦断研究の発達心理学的意味再考
805	RT3 発達障害と時間的展望	RT8 乳児期、幼児期初期のTOM (theory of mind)の発達過程検討
806	RT4 発達システム論とアフォーダンス—Gilbert Gottliebの理論と展開—	RT9 活動理論と時間的展望—活動の質的分析
701	RT5 発達障害のある子どもの発達支援におけるダイナミックアプローチ—多様なニーズに対するアセスメントと的確な「見立て」に基づく多面的支援について—	RT10 特別なニーズのある人における生涯発達支援に求められる枠組みIII~移行先の支援環境を想定した移行支援実践から考える~

大会第2日目 3月20日(木)

掲示時間 9:15~11:15

1003	ポスター発表 PB001~PB205(責任在席時間 奇数番号 9:15~10:15、偶数番号 10:15~11:15)	
	11:30~12:30	12:45~14:45
1001 1002	総会	L チンパンジーの親子と文化
1006	S9	発達(2)の文化性と生物性(2) — 言語発達における文化的要因と生物学的要因の関係を考える —
1007	S10	社会性の発達支援におけるアセスメント—発達障害の理解に基づく支援のあり方をめぐって—
1008	W1	講習会1:行動観察の実際—動物行動の現場から—
1009	SS2	育児支援の新たな局面を迎えて
702	S11	「心の理論」の獲得と実行機能の発達(2)—日常生活場面の観察データから問う—
802	RT11	談話構造の発達 身振りによる構築と維持に着目して
803	RT12	保護者と保育者集団の育児観とストレスについて考える—村山科研・保育子育て全国3万人調査より—
804	RT13	時代が隠すもの・現すもの(1) —生活から消えた死—
805	RT14	理の理—自己組織化しない語り
806	発表では使用しません	
	15:00~17:00	
	SS3	特別支援教育の課題—発達の観点によるアセスメントと支援をめぐって—
	S12	子どもは人間のもつ特性をどのように捉えるか— 特性理解の発達モデルの解明にむけて —
	S13	子どもを好きになれない親
	W2	講習会2:こうすれば心理学の授業はおもしろくなる—あなたのFDのために
	D2	現場で活かす臨床発達心理士を育てる—心理職養成のための大学院教育に求められる実習要件について—
	S14	乳幼児保育における母性意識の国際比較II—日・中・スウェーデンの男女学生とその両親の意識の差をめぐって—
	RT15	宗教性発達研究の展開(1)—日本人の宗教性発達を考える—
	RT16	メディアと認知発達
	RT17	発達のプロセスとトランスフォーメーションを記述する試み HSSとTEMという方法からTLMGという理解枠組みへ
	RT18	文化心理学が目指すもの—文化心理学の存在意義—
	RT19	保育者をとりまく人的・物的資源をつなぐ専門家の役割と課題

## 大会第3日目 3月21日(金)

掲示時間 9:15~11:15

1003	ポスター発表 PC001~PC203(責任在席時間 奇数番号 9:15~10:15、偶数番号 10:15~11:15)	
1001 1002	12:45~14:45 SS4 「こころを読む」ことの発達・進化・障害	15:00~17:00 D3 これからの保育支援の方向性を探るー保育アドバイザーに求められる専門性をめぐってー
1006	11:30~12:30 LL1 日本語で言語発達研究すること	S15 自閉症児支援における発達論的アプローチの展望ー「社会性」の基盤としての自己・社会的認知・情動の発達支援ー
1007	11:30~12:30 LL2 アイデンティティ形成のプロセスとメカニズム	S16 人の生きるかたちをどのようにとらえかわるのか(5)~現場を生きる者からみた言語や発達臨床現場のかたち~
1008	T2 WHO・QOL尺度ー知覚される生活の質への実証的アプローチ	S18 感情と動機づけの発達を考える(2)ーラディカルな批判に答えてー
1009	RL 自伝的記憶の発達	S19 発達の予兆を読み・解くー社会的認知の定型/非定型発達とその発達支援をめぐってー
702	S17 発達および発達支援の視点から学生の活動の意義(対こども、対教師、対学校および教育)を考えるー学校支援ボランティアにおける地域と大学の連携のあり方(3)ー	S20 「母親の態度・行動と子どもの知的発達 日米比較研究」を読む 日本における発達心理学／文化心理学の軌跡を未来に活かすために
802	RT20 魔法と科学の世界を生きる子どもたち	E 新しい乳幼児健診にむけて
803	RT21 日本におけるライフコース研究の総括と今後の発展可能性	S21 「軽度発達障害」児の早期発見・早期対応をめぐる地域の取り組みと今後の課題
804	RT22 第三者の共有と共同注意との関連性およびその成立過程をめぐって	RT25 世代を拓くインターフェイス(2)ー「子育て」との出会いをデザインする:異世代交流活動, その効用と課題ー
805	RT23 Character Educationの現状	RT26 ナラティブの発達と支援(3)ー自己・心の理解の発達との関連から:自閉症における知見を踏まえてー
806	RT24 幼児期の外国語学習の意義を考える:広島大学付属幼稚園「言葉のプロジェクト」から	RT27 表象の発達モデルー3つの試論ー
701	使用できません(他団体使用)	
学会・資格事務局	11:30~12:30 資格個別相談会	